

大町病院を守る会会報

No. 49

2016年9月発行
大町病院を守る会
発行責任者北村喜男

「お叱りいただいて・・・眼がさめた。」
「診ていただいただけで、安心し落ち着きました。」
(ありがとうメッセージシリーズNo. 11)

8月4日、病院内におかれているありがとうメッセージポストを開扉しました。やっと文字が書けるようになったお子さんから高齢の皆様まで沢山の感謝のメッセージが寄せられていました。

献身的な医師・職員への感謝の気持ちがしたためられていました。先生個人あてのメッセージは直接ご本人へお渡しするとともに会報に掲載させていただきました。なおお子様は実名で、成人はイニシャルで、原文のまま掲載しました。いただいた提言は病院へお渡ししました。

♡5階東の皆さんには祖母が大変お世話になっています。祖母へのあたたかな言葉がけで家族みんなが励まされ感謝の気持ちでいっぱいです。どうぞ看護婦・ヘルパーの皆さんお体に気をつけてくださいね。これからもよろしく願います。(匿名) 5F ラウンジ



8月21日 草取り

♡夜8時前に帰宅したところ家の中は真っ暗で、居間に妻が倒れるように寝込んでおり、驚いて病院にお世話になりました。伊藤先生ほかの皆さんに診察していただいている最中ですが診ていただいただけで、安心し落ち着きました。お世話になりありがとうございました。(U. T)

♡ひいばあちゃんが、お世話になっています。(匿名) 5F ラウンジ

♡看護師さんがとても優しくてうれしいです。ありがとうございます。(匿名) 5F ラウンジ

♡青木先生、ありがとうございました。

お叱りいただいて・・・目が覚めた。そんな気持ちです。仕事に追われ食生活をあまり顧みなくなっている場合もありコックさんの作ってくれたものを若い衆と一緒に何も考えず食べたりしてました。量は減らしていましたが。(O. Y)

♡私は脳神経外科に通院しています。松本まで通っていたのですが、大町病院に青木先生が来られたことを聞きこちらに移動しました。ハッキリとした口調で納得のいく説明と励まして、安心して通院しております。ぜひよそへ行かないでここに定着していただきたいです！



草取り後の一服

(待ち時間が長いのがすこし……。でも待っています。)

大町病院の産婦人科の医師不足で署名活動してきましたが近頃復活してきた様子でホットしています。大町病院のスタッフ、特に看護婦さん(脳神経外科)の接客態度満足です。満点です。これからもよろしくお願いします。(T. M)

♡こんばんは。3月9日PM10:00 お世話になりました。安心して休めると思います。(布切りボランティア:M. S)

♡4階の助産師さんが分かりやすく、話をしてくれた。◎◎(伊藤ララ)

♡適切な判断を頂いた。海野先生、執刀いただいた深松先生そしてスタッフの皆さまありがとうございました。

助産師の皆さまには、特に術後の痛みの中で、細やかなケアを頂きとても心強かったです。またお忙しい中、授乳指導など根気強く付き合ってくださいありがとうございました。(T. M)

♡初産でいろいろと心配も多かったですが、妊娠から出産、赤ちゃんのお世話まで、丁寧に指導していただき、退院できます。

「退院後も心配事があれば、電話をいつでもしてください」とおっしゃっていただき安心しました。海野先生はじめ助産師の原山さん、桜井さん、上村さん、平林さん、中原さん、塚田さん、西沢さん、いろいろとアドバイスや妊娠期からお世話になりました。スタッフの方々、本当にありがとうございます。小児科の先生、本当にありがとうございます。

大町病院で出産することを選んで本当に良かったと思っています。とても充実した入院生活を送ることが出来ました。また出産するときはお世話になると思いますが、よろしくお願いします。本当にありがとうございます。皆さんに赤ちゃんを見ていただけて幸せです。感謝でいっぱいです。(K. K)

♡義父が3月末から4月初めまで3階東病棟へ入院しました。スタッフの皆さん親切で優しく何より明るく接してくださいました。ありがとうございました。(A・S)

♡松本先生へ二年かん見てもらって、ありがとうございました。また、ひどくなったら見てください。ありがとうございました。◎ (いわきか南)



♡4月に入り少し暖かくなってまいりましたネ。
先生はじめスタッフの皆さんにはいつも笑顔で接していただき
感謝しております。

三月中頃、三寒四温の季節 ベッドでの治療の時、足元を温かく
していただき本当に嬉しかったです。気持ち良く治療ができました。ありがとうございました。
これからもよろしく願います。(匿名：治療患者)



♡5月12日 本当にお世話になっています。とても対応がよく、感謝でいっぱいです。よろしくお
願います。

♡今回思いがけない病を与えられ7月15日～7月26日の間、4階東で見てくださった先生方、看護
師さん、ヘルパーさん、お掃除して下さった方々、3食の食事を用意して下さいました多く
の方々にお世話になりました。ありがとうございました。

○担当の先生が…時間をかけて点滴のみで経過観察(抗菌薬は使わない。痛み止めは使ってください
ました。) 苦しい数日でしたが、何日で楽になるかな?・・・楽しみでもありました。感謝です。

○夕方、お忙しい中を‘今晚夜勤に入る〇〇で一す’と病床まで来てくださって、ご挨拶してくだ
さった看護師さんのお言葉は優しさと安心感を与えられました。嬉しかったです。

○朝食後の蒸しタオルでの背中拭き、気持ち良かったです。最高のサービス(おもてなし)でした。あ
りがとう!! (M. K)

♡高木先生へ先生は、いつも素晴らしい笑顔ですね。私はもちろんのこと、他の多くの患者さんも、
どれほど心が救われることでしょうか。先生の笑顔に接すると病気は大丈夫だと思えてくるのです。
病院に通っていると、医師は待たないのお仕事であることが目に見えます。ご苦労が多いことで
しょうが、お体を大切になさってください。患者の願いです。(S S Mの患者です)

♡10日間ばかりの入院生活でしたが先生や看護師さん、その他お働きの皆さまには大変お世話にな
りました。思い切って手術をして本当に良かったです。心より感謝しております。(M. M)

♡5階西病棟の皆さんへ：父が大変お世話になりました。家族での対応がどうにもならない突発的な
状況で受け入れていただきました。一度ならず、お世話になり感謝しております。

一度目はショートステイからの帰宅の予定日、家で受け入れができない状況が起きて、ケアマネ
さんに相談、大町病院にて受け入れていただきました。

二度目は地域の行事で、予想以上に手間がかかることが分かり、食事など世話ができないことが
分かりました。これまたケアマネさんにお話し、対応をしていただき受け入れていただきました。

介護度5の寝たきり老人を嫌な顔一つせず、親身になってお世話頂いているところを見て大変あり
がたく思いました。またこのようなきめの細かな隙間のない老人医療・介護サービスを作ってくだ
さった大町病院の皆さんに感謝します。おかげで私たちの地域や家族生活を無事送ることが出来ま
した。感謝しております。(T. H)

花壇の草取りしました

8月21日(日)早朝6時30分から7時30分まで病院の花壇の草取りと草刈りを行いました。玄関西側、ロータリー、南棟入り口北、桜並木南、駐車場内などの草取りと草刈りを行いました。作業が終わった後みんなでお茶を飲みながら談笑しました。参加者は21人でした。お疲れ様でした。



なお次回の「選定と草取り作業」は当初予定10月23日でしたが10月22日(土)9時から変更になりました。お間違えの無いようお願いいたします。

順参加者名(順不同・敬称略)

降旗剛、古川孝雄、矢口静人、宮崎節子、黒岩良介、小林千恵子、海川明文、塩原義夫、中島節子、れんげ薬局、豊田恒子(信濃大町のつけものや)、赤羽健次、栗林学、若林茂男、清水あさひ、渋田見博、北村喜男、高橋博久、神社正幸 銀松苑中島さんはじめ2名の皆さん。
※鎌の忘れ物がありました。事務局次長の高橋が預かっています。連絡ください。

県内外から40人「大町夏合宿 ～不明熱を学ぼう～」

大町病院の医師の質の高さを示す



8月26日夕方～28日12時30分(2泊3日)の日程で市立大町総合病院、信州金熊温泉 明日香荘(宿泊)会場に合宿型勉強会企画『「大町夏合宿」@市立大町総合病院』～不明熱を学ぼう～が行われ、大盛会の下、すべての日程を終了しました。

この合宿は講師として佐田竜一先生(亀田総合病院 総合内科部長代理)、宇都宮雅子先生(東京医科歯科大学 リウマチ膠原病内科)、本郷偉元先生(武蔵野赤十字病院 感染症科副部長)が勤め、3人の先生方の「頭の中を共有する」ことを合言葉に、県内外から研修医・医学生などを対象に約40人が集まり開催されました。

これは医師たちが日ごろ経験する「熱源のはっきりしない症例」に迷われた経験から不明熱についてじっくりと症例研究をするもの。それは時に感染症であったり、腫瘍であったり、膠原病であったり、臓器横断的思考を必要とします。臓器別研修ではなかなか総合的に学ぶ機会が無い「不明熱」。総合診療科の関口健二医師と外科医の高木哲副院長らが呼びかけ、実現しました。

その分野のエキスパートを講師に、ともに学ぶ合宿型勉強会企画で、系統的に集中して学んで自分の得意分野を広げるという初めての試みです。

初日の晩

八坂の明日香荘にて夕食会、自己紹介のあと、なんと21時から亀田総合病院総合内科の佐田竜一先生の「不明熱へのアプローチ」講演会でスタート。昨日から大町は雨。それまでの暑さが嘘のように涼しい週末で、勉強日和です。不明熱の不明な部分をいかに減らすか、佐田先生の熱いメッセージで大変勉強になりました。

大町夏合宿二日目、

9時から2日目の勉強会です。バスで大町病院に移動して、武蔵野赤十字病院感染症科の本郷偉元先生の講演が始まりました。発熱の「+α」をおさえることで診断に近づく、とのメッセージが印象的でした。

午後の部

東京医科歯科大学リウマチ膠原病内科 宇都宮雅子先生の講演。グループワークで症例トレーニングです。

膠原病関連の疾患を中心に診断のポイントを学びました。勉強は厳しく大変なものです。



続いてガチンコ症例検討会、最初のプレゼンターは信州大学医学教育センターの清水郁夫先生です。

原因不明な多発単神経障害のある患者、ステロイドパルス治療を始めたら、一旦良くなったかに見えたが、そのうちに熱が出始めた……。グループに分かれ検討会です。

夜の懇親会

牛越徹大町市長もかけつけてくれ、井上善博院長の乾杯で懇親会がスタート。懇親会のあとは、明日香荘の宿泊券や、黒部ダム往復チケットなど豪華な景品がもらえるクイズ大会。ビールを飲みながら、ゲームを楽しみながらの楽しい勉強です。

肝脾腫の診察の仕方では、亀田総合病院の佐田先生による実演があり、グループごとにみんなで練習しました。また、信州大学の清水先生による悪性リンパ腫特別ミニ講演もありました。夜 11 時までたっぷり勉強しました・・・。



大町夏合宿最終日

松本協立病院の上島邦彦先生、大町病院の實近百恵先生、五味志文先生からプレゼンテーションしてもらい、症例検討を行いました。

これで3日間にわたる全日程が終了。大町病院に加えて県内研修病院の初期研修医、県外からの参加もあり、朝から晩までかなりタイトなスケジュールでしたが、濃密かつ有意義な3日間を過ごすことができました！医療の向上と合宿を通して人と人のつながりを財産に現場に戻っていきます。

《大町夏合宿を終わり、大町病院総合診療科 関口健二医師の話》

約 40 人の参加者とともに大盛況のうちに無事全日程を終了いたしました！
市立大町総合病院は小さな病院ですが、小さいからこそある機動力、チーム力、ホスピタリティを武器に、これからも都市部に負けない、かつ地域に根差しているからこそ学べる研修プログラムを目指して歩みを進めます！
常勤医が十数人の大町病院に、学生と研修医が 40 人も集まったことは驚きです。総合診療、感染症、リウマチ膠原病の専門家が集まって、不明熱という枠組みで講演・症例検討をするという試みは今までにない企画であり、また講師の先生方が臨床推論をし合うのを、学生・研修医が目当たりにできるという大変貴重な勉強会でした

取材を通して伝わってきたこと（守る会）

医師の皆さんは控えめで、謙遜して口外しませんが、はっきり申し上げてこの企画の開催で大町病院の医師のグレードと意識の高さが示されました。大町病院の医療スタッフの医療技術や士気の高揚は日進月歩です。若い研修医が大勢集まってきている状況が示すように、医師の平均年齢もずっと若返り、かつての医療提供の数段上をいく内容となっています。この合宿の発端は病院の医師たちが毎朝 8 時から行っている症例カンファレンスから発案されたものです。医師たちはNHKテレビ番組の「ドクター・G」に負けない気概、熱意と能力を持って医療に当たっています。市民のみなさん安心して大町病院での受診をおすすめします。そして口コミで伝えてください。「大町病院は近隣医療機関ではナンバー1だ。すごいスタッフたちの集まりだ。」と。

詳しくは市立大町総合病院のフェイスブックをご覧ください。

フェイスブックに見る大町病院：高木外科医師の多忙

8月0日 昨日は緊急オペの嵐。

予定の乳癌の手術のあと、大腿ヘルニア嵌頓、急性壊疽性胆嚢炎、急性虫垂炎と、続けて3例も急患が飛び込んだ。いずれも緊急手術が必要な患者。外科は二人だけなので、直列で一列ずつやるしかない。最後の虫垂炎のオペが終わったのは23時。疲れた一。

緊急手術が外科だけで1日に3件もあるなんて、大町では初めて。産婦人科や脳外科でも緊急手術があり、手術室はてんでこまい。今日だけは大町病院は松本のA病院のようだった。

8月23日 病院の夏休み

月、木、金は午前中の内視鏡を担当しているし、外来もあるし、手術もあるので、夏休みをとることは容易ではなく、結局この夏は火曜日の午後だけ、水曜日に外来を止めて1日だけ、木曜日の午後だけなど、ちょっとずつ休みをいただいた。

今日は午後半日の夏休みをとって、末っ子と遊ぼうと思っていたのだが、緊急手術が入ってしまい、結局帰るのは断念し、夜まで普通に仕事をして帰った。

日本は世界中で最も病院数が多い。つまりどんな人口の少ない田舎にも小さな病院があり、そんな医者が数人とか十数人しかいないような病院にも、CTやMRIがあり、ちゃんとした検査機器がある。しかしその少ない医者で、毎日の外来、当直などをこなしているため、田舎の小さな病院ほど、一人ずつの医者への負担は重くなり、休みもとりずらくなる。

海外では、日本では考えられないような大きな規模の病院があり、患者や手術も多いが、医者やその他のスタッフも多いため、きちんと業務を分担し、休みもきちんととれる体制になっている。どちらがいいのか？ 海外のようにするならば、長野県全体で病院は4つくらいでいいということになってしまうかもしれない。集約化だ。集約化が必要なのか、いや、日本には合わないのか、いや人口減少時代にあって、避けられないのか？悩ましい。

8月29日 夜10時 オペ終わり夕食に

直腸がんの予定手術のあと、胆のう炎の緊急手術もあり、今終わりました。これから夕飯食べに行きます。(差し入れの)手作り野菜ありがとうございます。(22時ちょうど・ショートメール)

やまびこ祭りに元気に参加



暑さを吹き飛ばす！！ 来年は練習して入賞を

8月6日夕刻より第38回やまびこ祭りの大町病院連の出陣式が高見町公民館で行われました。井上善博院長の音頭で乾杯し、団結の輪を確認し出場しました。

先頭には青木先生、新津両先生、清水看護部長等が立ち総勢60人程の大編成でした。途中塩沢先生、實近先生が激励に駆け付けて下さいました。守る会からは神社幹事、高橋事務局次長がのぼり旗をもって参加しました。来年こそCDで練習、入賞だ！！



本の寄贈をお願いします

病院では病棟ラウンジ等に設置している来院者用の本が古くなり破損してきているため、職員と守る会の皆さんに本の寄贈をお願いしています。サービス向上のため、ご協力いただきますようお願いいたします。小説、随想、子供用絵本など。持込場所は病院2階事務室（庶務課庶務係）

（詳しくは会報第48号参照ください）

お知らせ・・・今後の日程が変更となりました。参加者募集中です！！

10月10日（月：祝日）9時半から：キノコ狩り・キノコ鍋、遊びで交流会（がったまつりと合流）

参加費500円 対象：会員・職員家族 食事あり 職員申し込みは庶務課 庶務係

10月22日（土）9時から11時まで： 病院庭木剪定とプランター片付け、草取り作業

集合はいずれも病院玄関前です。申し込み、問い合わせは事務局 種山：090-3093-2032

高橋：090-4054-2747

◎会員募集中です！！市民・職員の皆さん病院を一緒に盛りたてましょう

◎会費を納入していただきました（順不同・敬称略）

矢口静人、大日方宗仁、竹田たけ子、竹田保二、太田千鶴子、石川智朗、松井和子、中村洋子、倉科健夫、傳刀正則、平林千恵、平林秀卓、齋藤博子の皆さんです。

◎新規加入をいただきました（順不同・敬称略）

青木俊樹先生、太田久彦先生、金子一明先生、松下直生、堀田明恵、小林佐恵子、宮坂里津絵、傳刀仁美の皆さんです。

皆さんありがとうございました。

※未納会員の方・・・会費納入は封筒に住所、氏名を記入の上、大町病院1階医事課小林補佐または2階庶務課小林係長にお預けください。守る会へ届きます。

（問い合わせは高橋事務局次長 携帯電話 090-4054-2747 まで）